

ご関係各位

U-クレジットとバイオ炭農地炭素貯留(シンポジウム)開催のお知らせ

主催 日本バイオ炭普及会

共催 立命館大学 OIC 総合研究機構

〈開催日〉 令和3年1月27日(水)

〈場 所〉 立命館大学大阪茨木キャンパス (OIC)B棟 3F B374 コロキウム

立命館東京キャンパス (サピアタワー) 教室

上記現場2ヶ所+オンライン (ZOOM) による多元中継

〈参加費〉 無料

〈参加申し込み〉 必要

〈参加形態〉

(対面)

立命館大学大阪茨木キャンパス

コロナ対応のため先着 50 名まで

立命館東京キャンパス

コロナ対応のため先着 30 名まで

(オンライン)

媒体 : ZOOM

〈参加お申し込み〉

・このシンポジウムに(オンライン参加、会場参加〈東京 大阪〉、不参加)

※横にマルを付けて下さい(例: オンライン参加 ○)

(例: 会場参加〈東京 ○ 大阪〉)

・ご所属、お名前(フルネーム)、e-mail アドレスを記載ください。複数名いらっしゃる場合は、全員分ご記載下さい。

ご所属 :

お名前 :

e-mail アドレス :

・業種(製炭 炭化炉製造 農林水産業 その他())

※横にマルを付けて下さい

・参加理由 ()

オンライン参加を希望された皆様には、追って、Zoom の接続 URL を送らせて頂きます。

〈プログラム〉

【はじめに】（13:00～13:05）

- JBA組織の今後の展望（世界に互するには）（5分）

日本バイオ炭普及会会長 凌 祥之（九州大学大学院農学研究院教授）

【説明会の部】（13:05～16:50）

J-クレジット申請における流れと各種説明

- JBAにおける製造販売部門の役割と期待（バイオ炭品質の向上と製造バリデーションの重要性）（5分）

JBA製造販売部会部会長 吉澤 秀治（明星大学名誉教授）

- バイオ炭を使ったJ-クレジット制度の概要（モニタリング検査と取引）（20分）

みずほ情報総研株式会社 環境エネルギー政策チーム 桂 貴暉

- LCAにおける付随的排出量とLCAバウンダリーについて（15分）

JBA・LCA小委員会委員長 中野 勝行（立命館大学政策科学部准教授）

- バイオ炭のJIS M 8812による炭素率とIPCCの炭素率の相関…今後の展望と開発協力の要請（15分）

JBA・バイオ炭規格小委員会副委員長 梶本 武志（和歌山県工業技術センター主任研究員）

- JBAにおける製造販売部門の状況と今後の進むべき方法性（地域における生産者の役割）（10分）

JBA・製造機械部門小委員会 梅沢 美明（(株)イーエヌツープラス代表取締役）

- バイオ炭証明部門の役割とJ-クレジット申請における社会的要請及びその証明内容（15分）

JBAバイオ炭品質部門部門長 沖森 泰行（株KANSOテクノス）

- J-クレジットプログラム申請と環境保全農作物のブランド化（15分）

（一社）日本クルベジ協会・炭貯クラブ代表 柴田 晃（立命館大学OIC総合研究機構客員教授）

12:00～15:00 質疑応答

15:00～15:10 休憩

【公演会の部】（15:10～16:50）

- 農林水産省における脱炭素対策（温室効果額削減）に向けて（20分）

農林水産省大臣官房政策課環境政策室 久保牧衣子 室長（予定）

- バイオ炭の国際的な動きと今後の研究方針（モデル地域展開等）（25分）

農研機構 農業環境変動研究センター 岸本文紅 上級研究員

- バイオ炭炭素貯留と関連企業との連携（大阪万博に向けて）（20分）

立命館大学経営学部准教授 依田 祐一

休憩

- 脱炭素研究と立命館大学（15分）

立命館大学副総長（研究部長）徳田 昭雄

- バイオ炭メーカーの期待（10分）

シン・エナジー株式会社社長 乾 正博

- 締め言葉（10分）

日本バイオ炭普及会会長 凌 祥之（九州大学大学院農学研究院教授）

※ 登壇順序が前後する場合や、都合により登壇者が欠席する場合もございます。あらかじめご了承ください。

〈問い合わせ先〉

担当：小澤・高橋

日本バイオ炭普及会事務局

TEL/FAX: 072-620-8015

携帯: 090-3924-7426 (小澤)

Email: jba-info@biochar.jp